

# 暮らしのアイテム展

KURASHI-ITEM-TEN 2019

Creator

**INDEN Lab.,  
Kokushikan UNIV.**

Title

**FTCFB chair**

Description of the works



日本各地で、管理が行き届かずに荒れ放題になっている放置竹林が問題になっている。また、日本は自然災害が多く、常に台風や地震などの危険にさらされており、森林や公園などが被災した際に多くの倒木が発生している。これらの倒木は破碎をして縮減を図っているものの、土が混入してしまうため、燃料としての利用も容易ではなく、埋め立て処分を余儀なくされている状況である。

建築技術のなかにCFTと呼ばれるコンクリート充填鋼管構造がある。これは、鋼管内にコンクリートを打設して柱とする構造であり、コンクリートのバレーリングを鋼管が押さえ込み、靱性を高めるとともに座屈を防ぐ役割も担い、小断面で強靱な構造体を達成するものである。この技術を「鋼管に見立てた竹」と「コンクリートに見立てた倒木チップ」によって応用できるのではと考えた。

本提案では、これらの人間生活のサイクルから外れてしまった天然素材の活用を図るべく、放置竹林の竹と倒木チップを素材とし、竹の空洞内へ倒木チップを締固めることで成型した倒木充填竹管 (FTCFB ; Fallen Tree Chips Filled Bamboo) の椅子を試作した。

製作： 須藤 瞳, 吉川 黎, 中村 倅穂 [国土舘大学建築学系3年生]  
位田 達哉, 酒井 コウジ [国土舘大学]

素材： 倒木チップ (久宝寺緑地からの提供), 孟宗竹, 米松端材

サイズ： W270×D170×H480 mm

質量： 27kg



主催：



JID

公益社団法人日本インテリアデザイナー協会  
Japan Interior Architects/Designers Association

共催協力: 英国インテリアデザイン協会 (BIID)

特別協力: KASHIWA